



2025年12月期 第1四半期 決算説明資料

オプテックスグループ株式会社
証券コード6914
2025年5月9日

<免責事項>

本資料に記載しております、オプテックスグループ株式会社の業績、戦略、事業計画等の将来予測を示す記述については、発表時点で入手可能な情報による判断および仮定に基づいております。判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化により、実際の業績等が記述されている将来予測とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

事業セグメント 名称変更

投資家の皆様に事業内容を分かりやすくするため、セグメント名称を一部変更いたします。

【旧名称】

SS事業 (センシング ソリューション)	防犯関連
	自動ドア関連
	社会・環境関連
IA事業 (インダストリアル オートメーション)	FA関連
	MVL関連
	IPC関連
	MECT関連
EMS事業 (EMS:電子機器受託生産サービス)	
その他 (環境体験学習の運営)	

【新名称（黄色箇所）】

SS事業 (センシング ソリューション)	防犯関連
	自動ドア関連
	社会・環境関連
IA事業 (インダストリアル オートメーション)	FA関連
	検査用照明関連
	産業用PC関連
	自動化装置関連
EMS事業 (EMS:電子機器受託生産サービス)	
その他 (環境体験学習の運営)	

1. 2025年12月期 1Q決算概要

2. 2025年12月期 業績予想

決算発表のポイント

SS事業：Sensing Solution（センシングソリューション）事業
IA事業：Industrial Automation（インダストリアルオートメーション）事業

2025年12月期 第1四半期 実績

売上高

- ・ 前年同期比-2.5%の減収。
- ・ IA事業/自動化装置関連（車載電池の注液装置）の販売が減少。

営業利益

- ・ 前年同期比+6.7%の増益。
- ・ SS事業：高付加価値製品（防犯センサー、車両検知センサー等）の売上が増加し、大幅増益。
IA事業：売上構成比の変化により原価率が低減したものの、自動化装置関連の売上減少により減益。

2025年12月期 通期 業績予想

- ・ 通期業績予想に変更なし。
- ・ 米国の関税政策による業績への影響については、SS事業の防犯・自動ドア用センサーやIA事業の検査用照明などで直接的な影響が懸念されるが、当期の米国売上高は連結全体の1割強と予想しており、予ねてから行っている売価適正化とサプライチェーンの最適化を進め、全体業績への影響の低減に尽力している。

2025年12月期 1Q連結決算 総括

(単位:百万円)		2024/12期 1Q (1-3月) 実績	2025/12期 1Q (1-3月) 実績	対前年同期 増減額	対前年同期 増減率
売上高		15,464	15,080	-384	-2.5%
営業利益 (営業利益率)		1,755 (11.4%)	1,873 (12.4%)	+118	+6.7%
経常利益		1,981	1,631	-350	-17.6%
親会社株主に帰属する 四半期純利益		1,301	1,778	+477	+36.6%
1株当たり 四半期純利益 (円)		36.65	49.92		
為替レート (円)	1USD	148.61	152.60		
	1EUR	161.31	160.50		

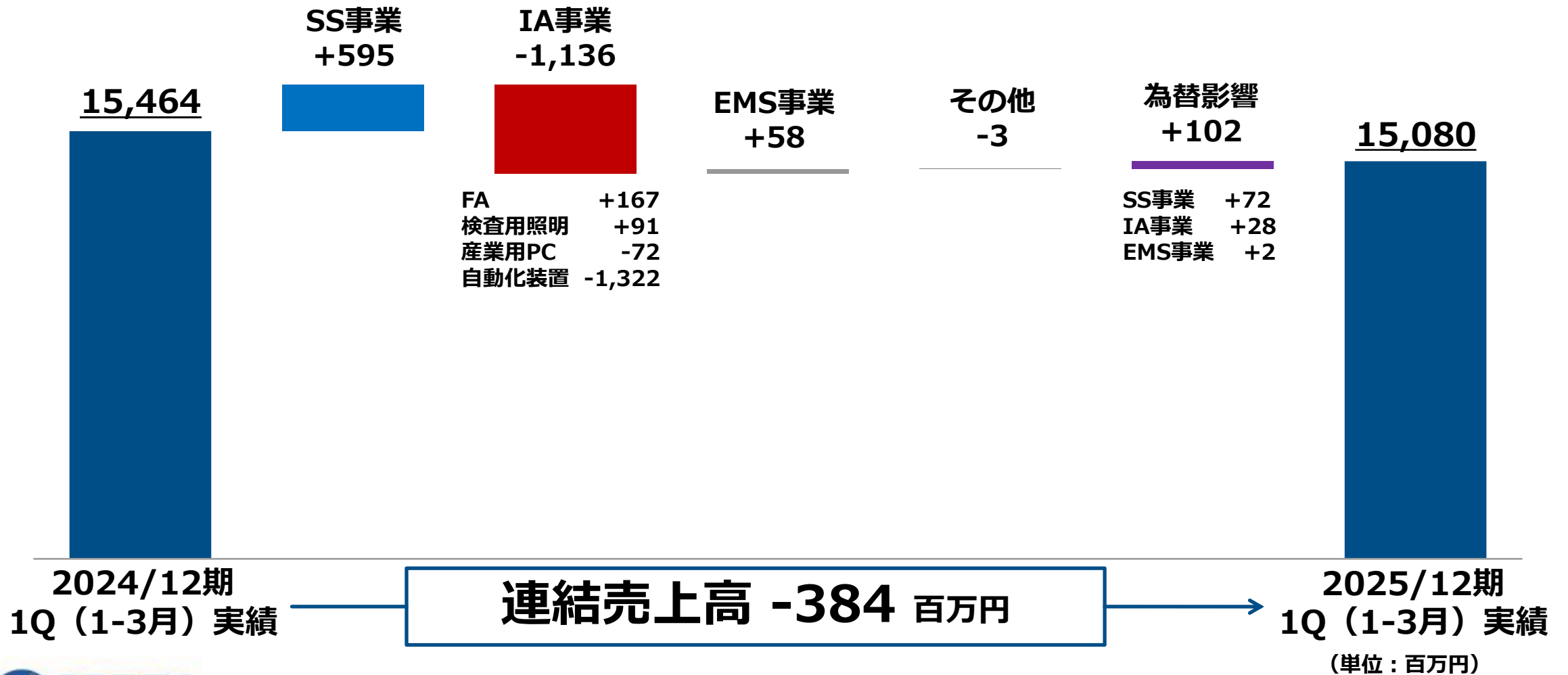
2025年12月期 1Q連結決算 セグメント別 売上高・営業利益

(単位:百万円)	売上高			営業利益 (営業利益率)		
	2024/12期 1Q(1-3月)実績	2025/12期 1Q(1-3月)実績	対前年同期 増減率	2024/12期 1Q(1-3月)実績	2025/12期 1Q(1-3月)実績	対前年同期 増減率
SS事業 (センシング ソリューション)	7,190	7,856	+9.3%	1,167 (16.2%)	1,597 (20.3%)	+36.8%
IA事業 (インダストリアル オートメーション)	8,089	6,981	-13.7%	729 (9.0%)	516 (7.4%)	-29.2%
EMS事業	175	236	+34.5%	-169	-137	—

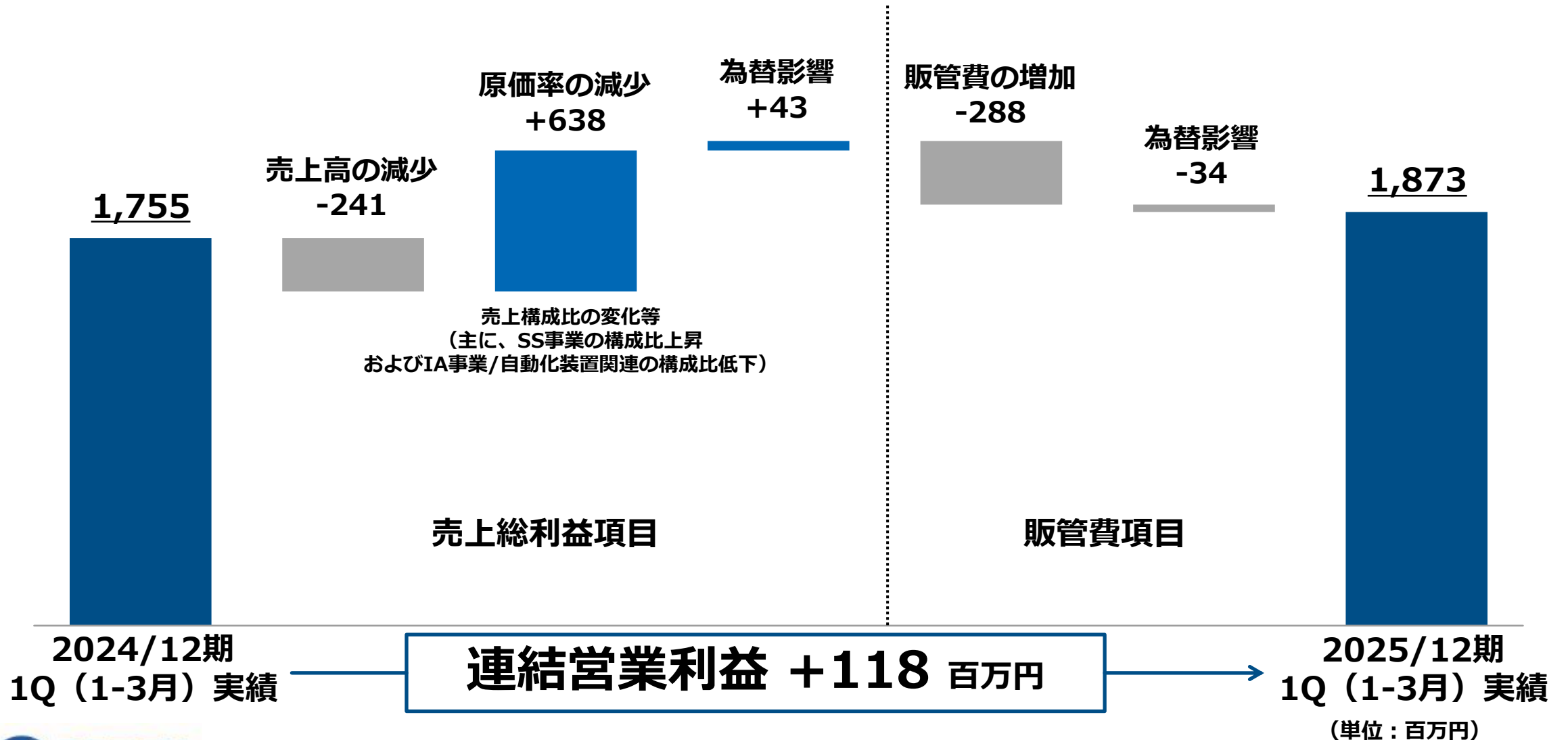
※セグメント別の売上高は、セグメント間取引の売上高を消去した数値を表示しています。

※セグメント別の営業利益は、セグメント間取引の営業利益を含む数値を表示しています。

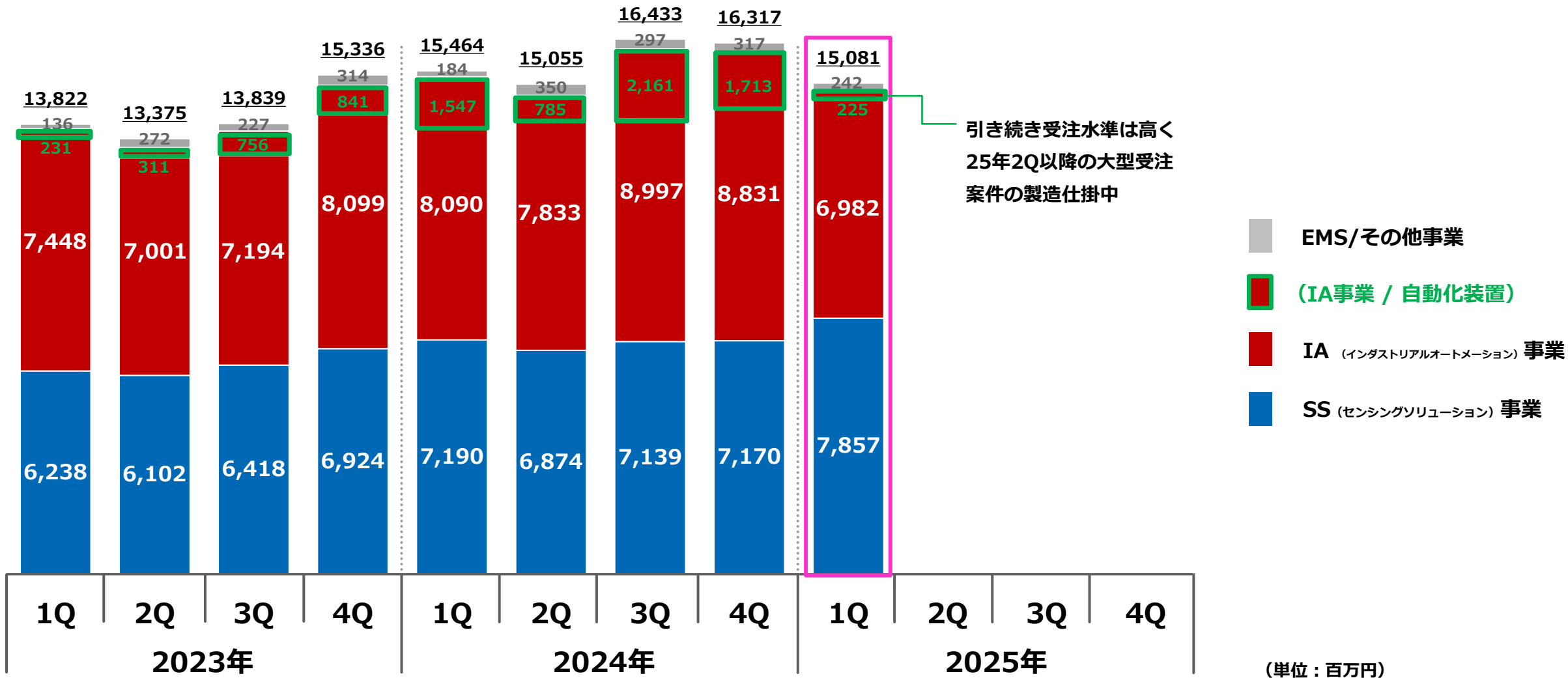
2025年12月期 1Q連結売上高 増減要因（前年同期比）



2025年12月期 1Q連結営業利益 増減要因（前年同期比）



連結売上高 四半期推移 (2023-2025年)



SS事業（防犯関連）

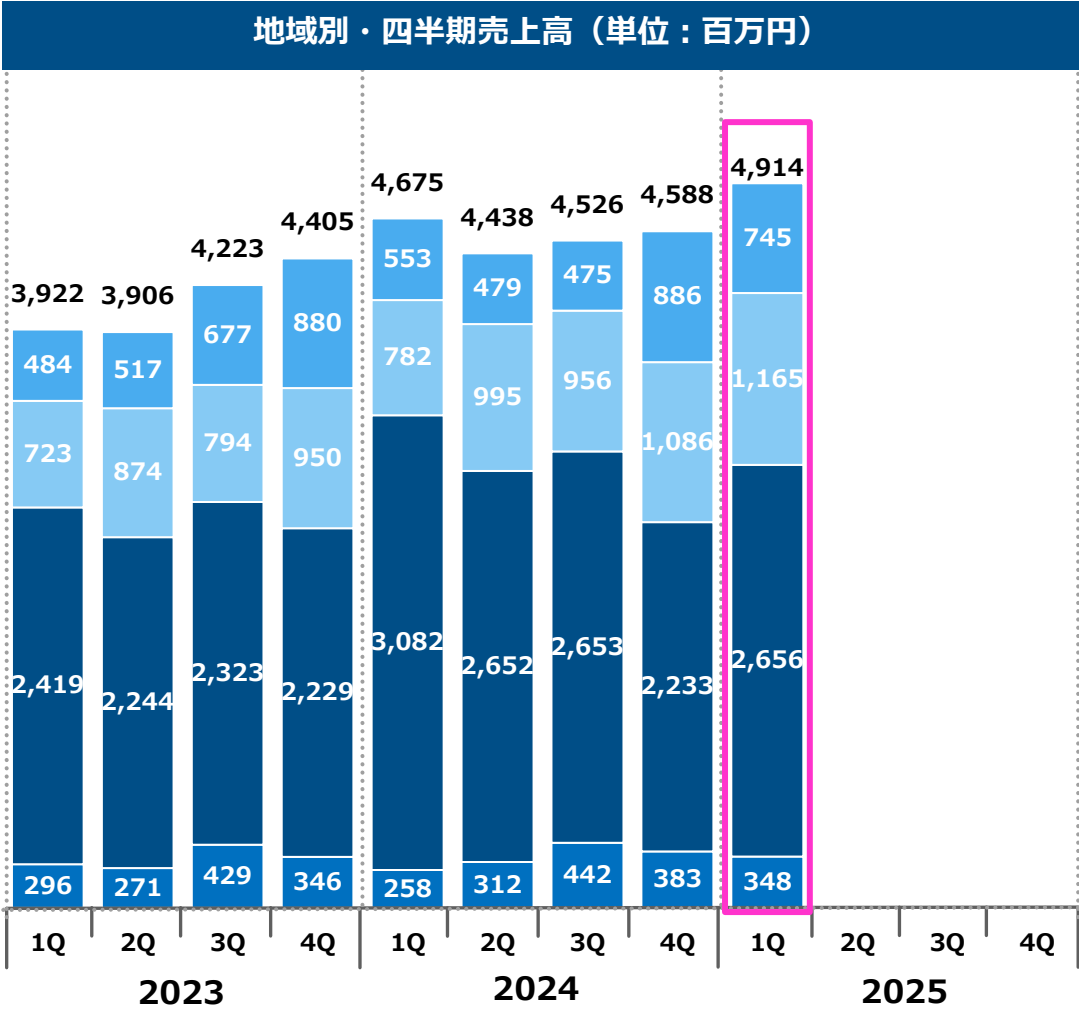
地域	2025/12期 1Q（1-3月）業績のポイント
日本	・ 空港、インフラ関連施設などの大型重要施設 向けの案件獲得が増加
米州	・ データセンター向けでレーザースキャンセンサー の販売が好調
欧州	・ データセンターやインフラ関連施設向けで レーザースキャンセンサーの販売が堅調に推移 ・ 店舗や住宅向けで値上げ前の駆け込み需要に よる受注が増加
アジア	・ データセンター、空港などの大型重要施設向け の案件獲得が堅調



大型重要施設向け
レーザースキャンセンサー



カメラ付きセンサー



■ 日本
■ 米州
■ 欧州
■ アジア



SS事業（自動ドア関連）

地域	2025/12期 1Q（1-3月）業績のポイント
日本	・ 自動ドア用センサーの販売が堅調 ・ 商業施設向けに客数情報システムの販売が順調
米州	・ 自動ドア用センサーおよびシャッター用センサーの販売が堅調 ・ 値上げ前の駆け込み需要により受注が増加
欧州	・ 自動ドアメーカー向けの販売が堅調



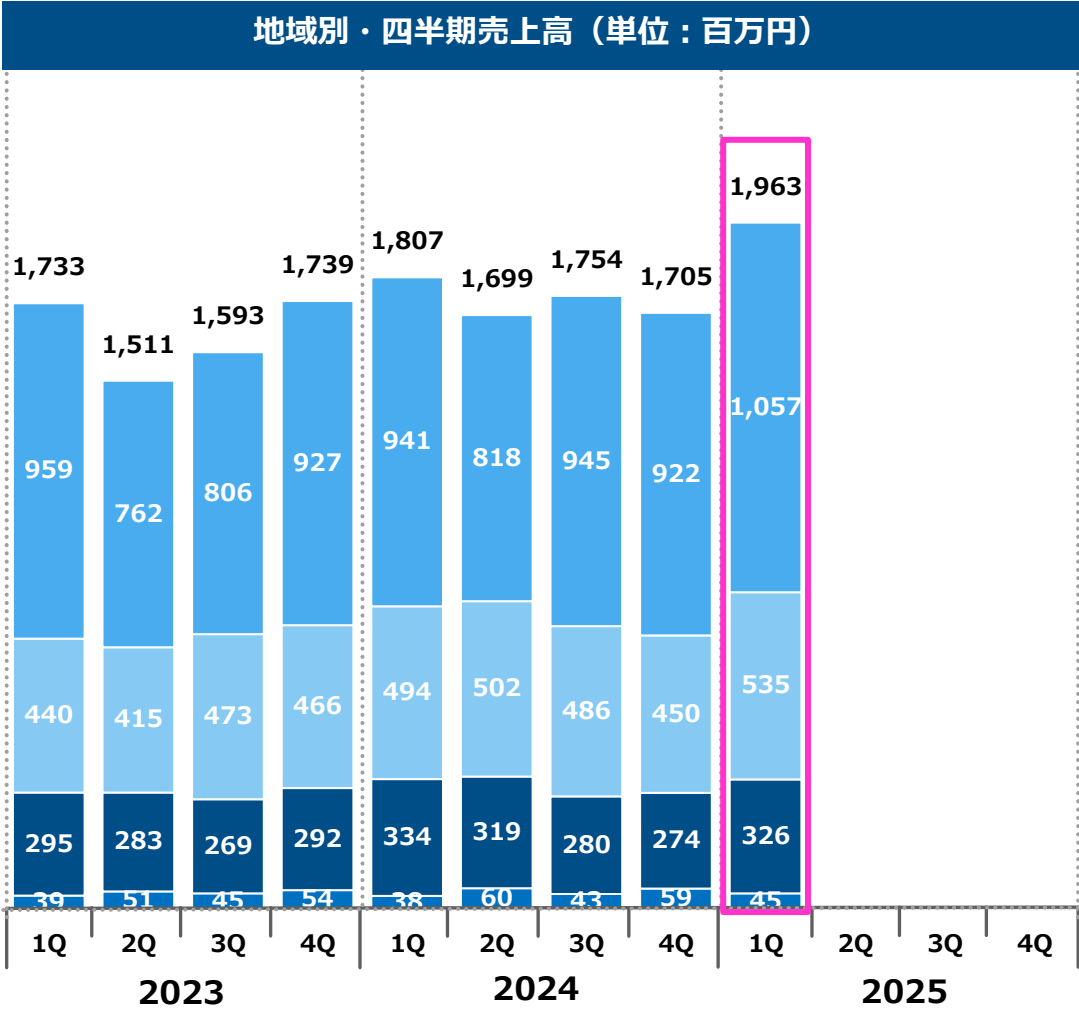
自動ドア用センサー



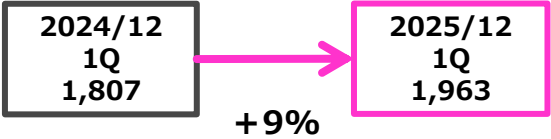
タッチスイッチ



シャッター用センサー



■ 日本
■ 米州
■ 欧州
■ アジア



SS事業（社会・環境関連）

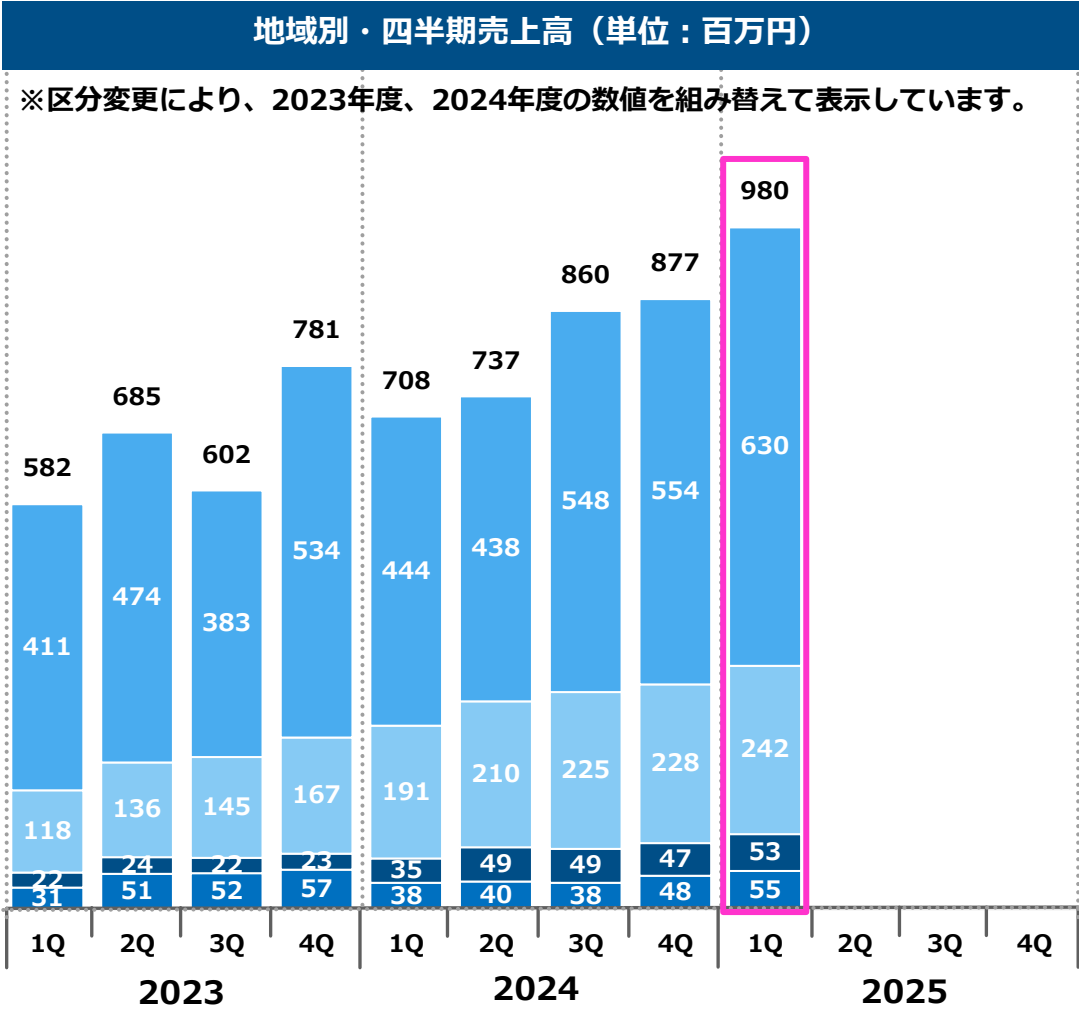
地域	2025/12期 1Q（1-3月）業績のポイント
日本	・ 駐車場向け車両検知センサー、システムの販売が好調 ・ 水質センサーおよびデータマネジメントサービスの販売が順調
米州	・ 駐車場のゲート開閉用途で車両検知センサーの販売が順調に推移



車両検知センサー



水質計測データマネジメントサービス



■ 日本
■ 米州
■ 欧州
■ アジア



IA事業（FA関連）



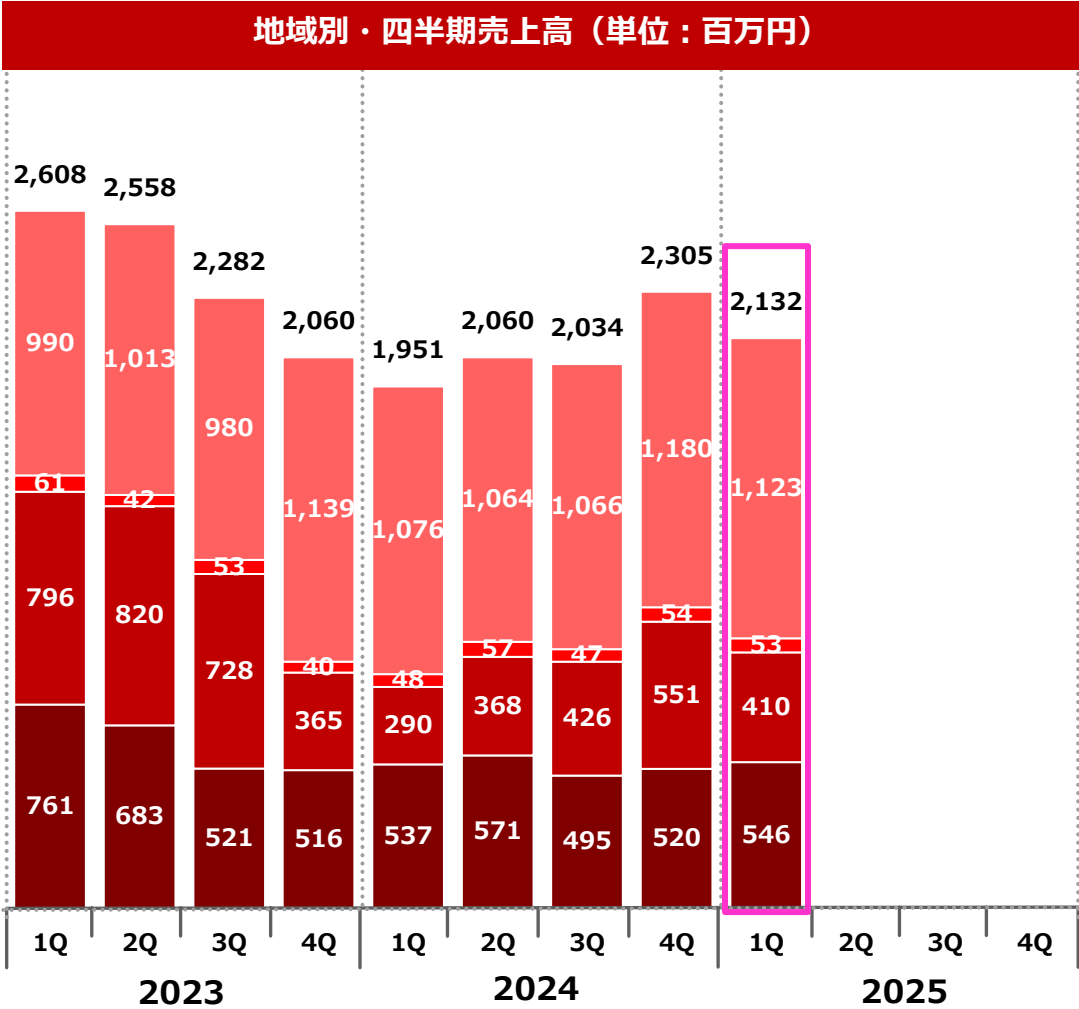
地域	2025/12期 1Q（1-3月）業績のポイント
日本	・ 半導体、電気、電子部品関連向けの販売が堅調に推移
欧州	・ 主要顧客の在庫調整が一巡し、設備投資需要は緩やかな回復基調が継続
アジア	・ 中国の設備投資需要低迷が底打ちし、販売が堅調に推移



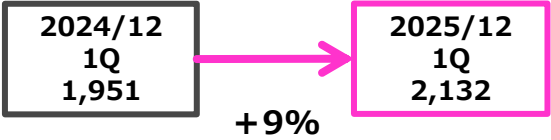
変位センサー



IO-Linkマスター



日本
米州
欧州
アジア

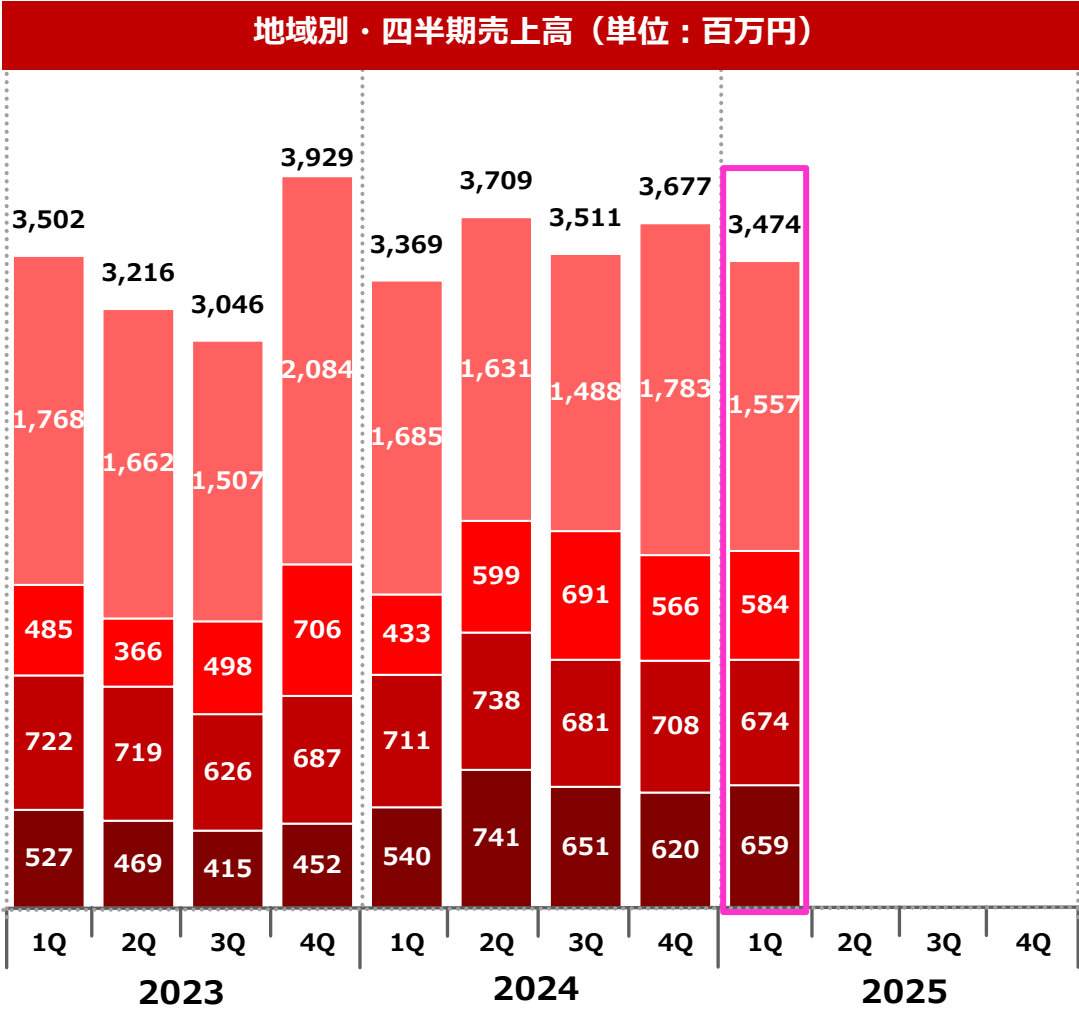


IA事業（検査用照明関連）

地域	2025/12期 1Q（1-3月）業績のポイント
日本	・ EV関連業界向けの案件で遅延が発生したものの、先端部品関連の引き合いは順調に増加
米州	・ 物流業界向けにフランス子会社製品の販売が堅調に推移
欧州	・ 物流業界向けにフランス子会社製品の販売が堅調に推移 ・ 欧州の体制強化でシェア拡大を目指す
アジア	・ 東南アジアで半導体関連向けの販売が堅調



検査用LED照明



IA事業（産業用PC関連）

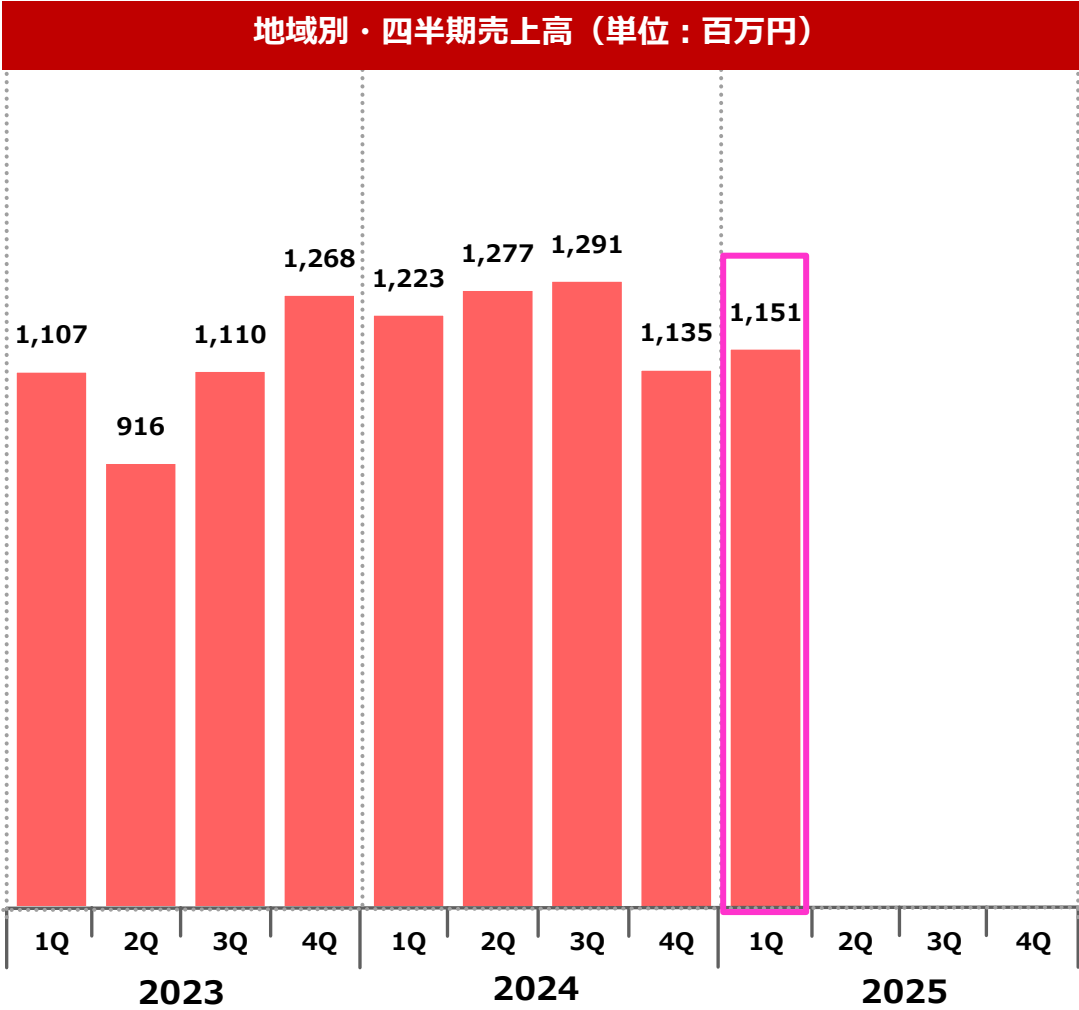
地域	2025/12期 1Q（1-3月）業績のポイント
日本	・ 半導体製造装置向けの販売が堅調に推移



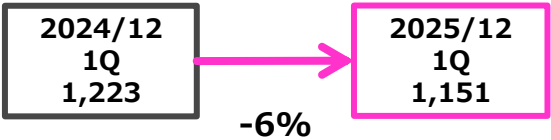
産業用コンピュータ



追尾用カメラ



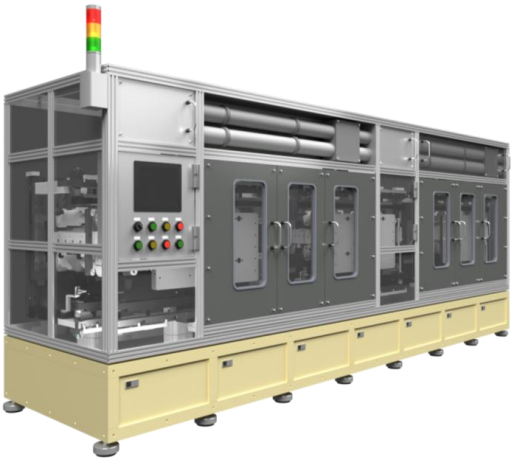
■ 日本



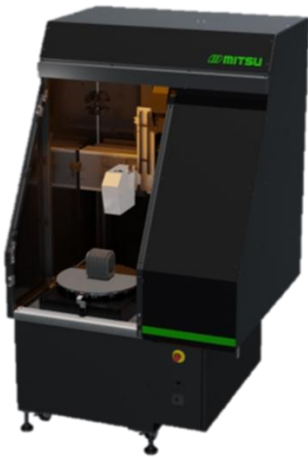
IA事業（自動化装置関連）



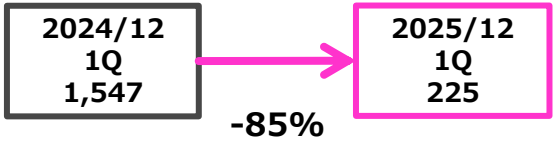
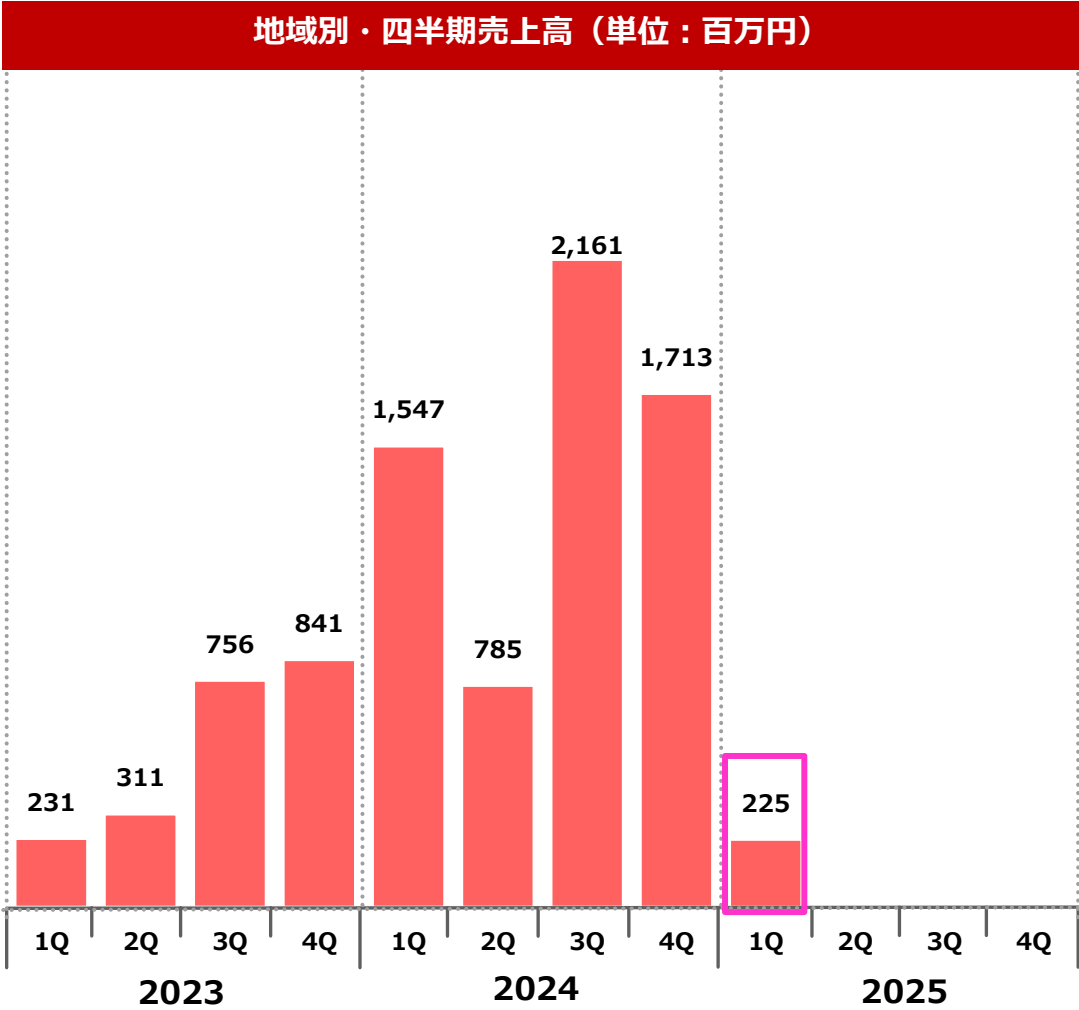
地域	2025/12期 1Q（1-3月）業績のポイント
日本	・ 2Q以降の二次電池製造装置の案件納品に向けて生産中



電気自動車・ハイブリッド車向け
二次電池製造装置



画像処理検査装置



1. 2025年12月期 1Q決算概要

2. 2025年12月期 業績予想

2025年度 通期連結業績予想

通期業績予想は、前回2月14日に公表した数値から変更なし。
米国の関税政策がSS事業の防犯・自動ドア用センサーやIA事業の検査用照明に影響を与える可能性があるが、
売価適正化とサプライチェーンの最適化により、業績への影響の低減に取り組んでいる。
今後も追加関税の動向を注視し、リスク抑制に努める。

(単位：百万円)	2024年度 通期実績	2025年度 通期予想	対前年度 増減率
売上高	63,269	66,000	+4.3%
営業利益 (営業利益率)	7,121 (11.3%)	7,400 (11.2%)	+3.9%
経常利益	7,749	7,400	-4.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	5,689	5,900	+3.7%
1株当たり当期純利益 (円)	159.86	165.66	

■ 為替レート

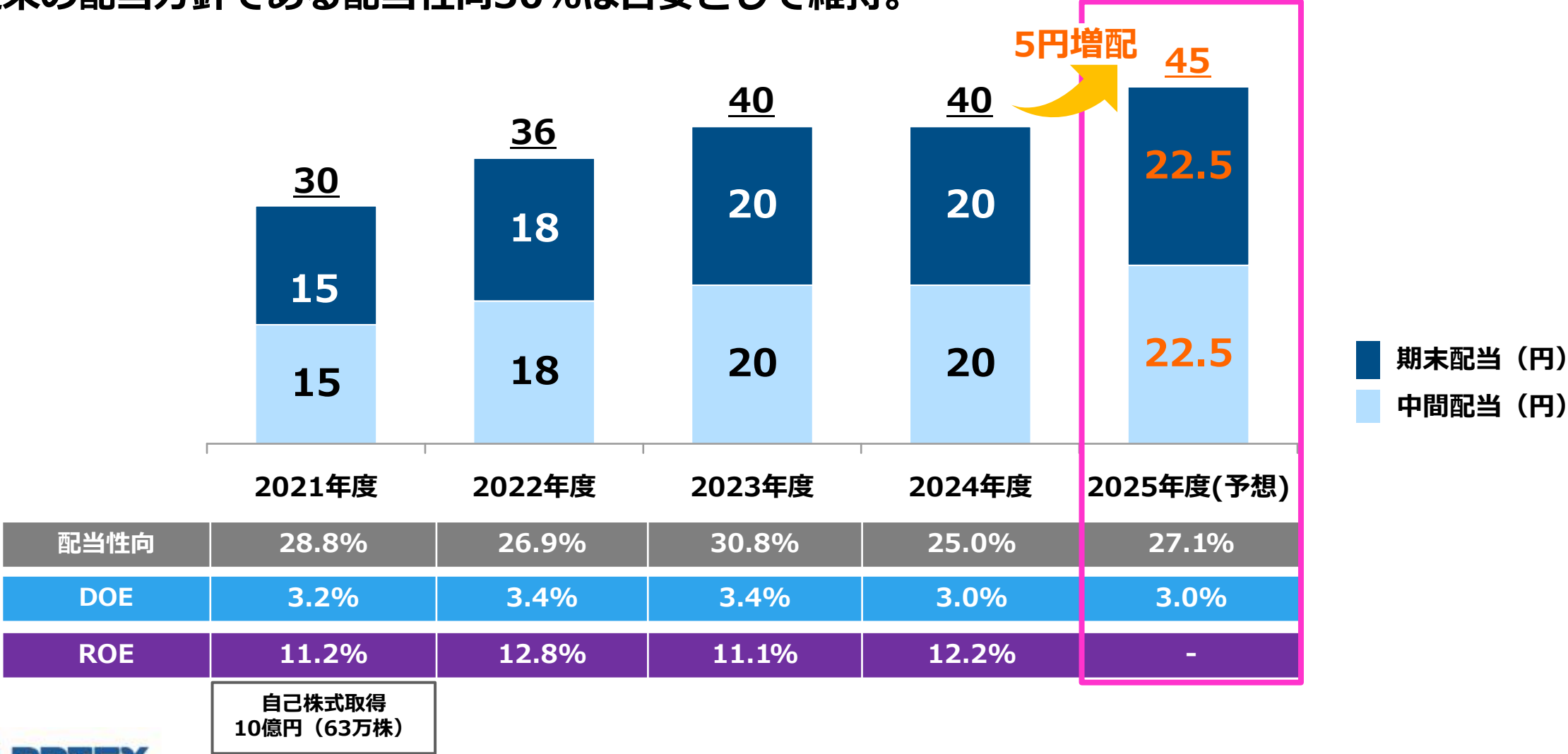
	2024年度 (実績)	2025年度 (想定)
1USD	151.58円	145.00円
1EUR	163.95円	155.00円

■ 為替感応度 (2025年度予想、1円変動による影響額)

	売上高	営業利益
USD1円相当	約200百万円	約70百万円

株主還元

2025年度より、安定的な配当実現に向け、DOE 3%の下限を設定する。
従来の配当方針である配当性向30%は目安として維持。





会社概要

会社概要

会社名	オプテックスグループ株式会社
所在地	滋賀県大津市
創立日	1979年5月25日
資本金	2,798百万円
売上高	63,269百万円
営業利益	7,121百万円
決算月	12月
証券コード	東京証券取引所 プライム上場 6914
連結従業員数	2,148名 (派遣・パート・アルバイト除く)

数値：2024年12月末時点



オプテックスグループは
センサーの総合メーカーです。

「見えないものを、見るしごと。」

【会社名の由来】

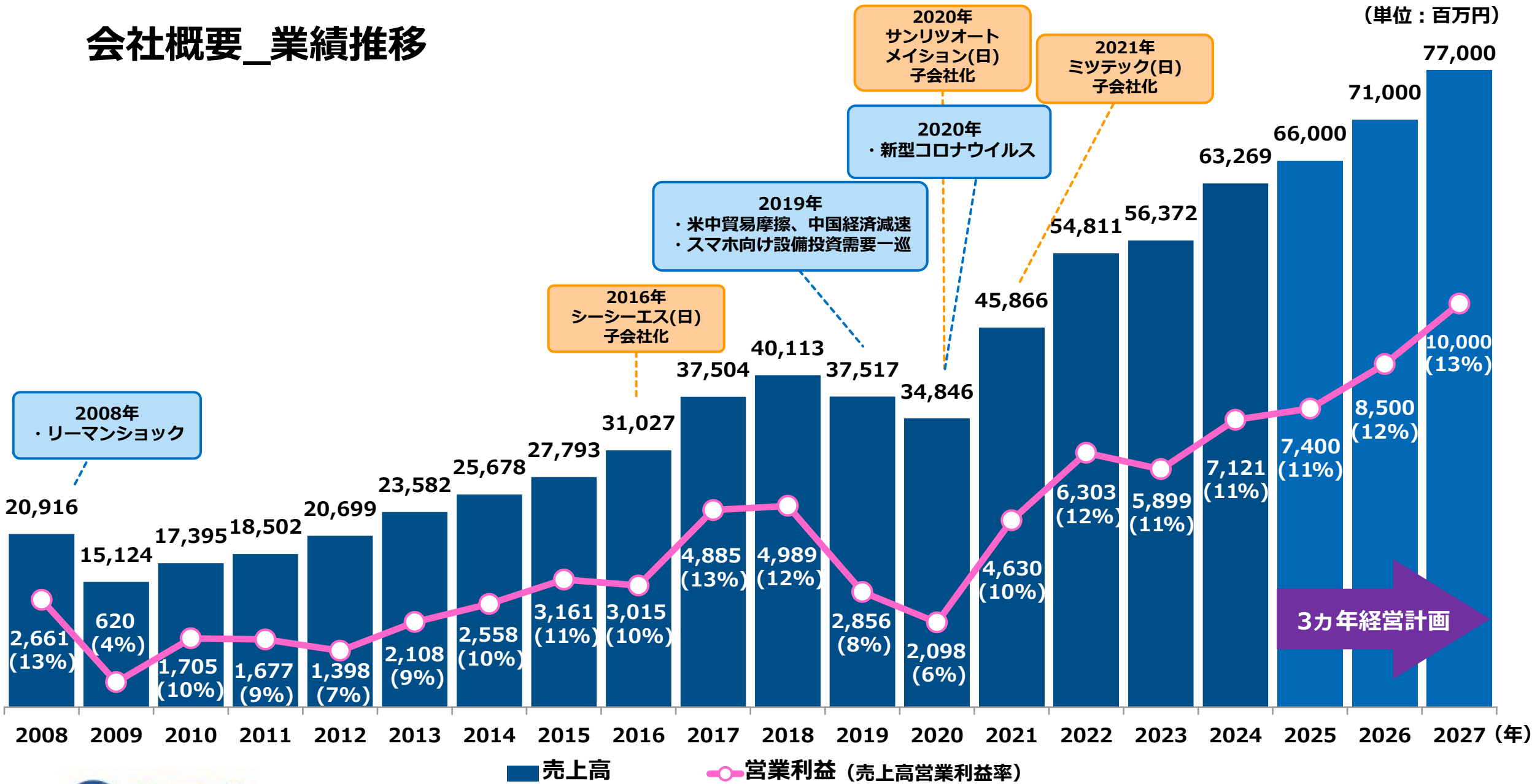
オプテックスグループ
OPTEX

Optical TEchnology
光学技術

未知、未来を表す
X (エックス=ギリシャ語)

会社概要_業績推移

(単位：百万円)



会社概要_沿革

1979	・ 創立
1980	・ 世界初、赤外線利用の自動ドア用センサーを開発
1985	・ 米国カリフォルニアに子会社を設立
1991	・ 店頭公開（旧JASDAQに相当）
1996	・ 屋外防犯用センサーを開発
2001	・ 東証二部上場
2002	・ オプテックス・エフエー株式会社を設立
2003	・ 東証一部上場
2005	・ 中国に自社工場を設立 ・ オプテックス・エフエー株式会社上場
2016	・ シーシーエス株式会社を子会社化（63.5%の株式を取得）
2017	・ オプテックス・エフエー株式会社を完全子会社化 ・ オプテックスグループ株式会社を持株会社とする新体制に移行
2020	・ サンリツオートメーション株式会社を子会社化
2021	・ ミツテック株式会社を子会社化



創立当時



自動ドア用センサー1号機



屋外防犯用センサー



オプテックス・エフエーが開発した工場用センサー



中国の自社工場（広東省東莞市）



シーシーエスの画像処理用LED照明

会社概要_体制図

オプテックスグループ 株式会社

(東証プライム上場 証券コード：6914)

持株会社

オプテックス株式会社

防犯用・自動ドア用等各種センサーの開発・製造・販売

SS事業

オプテックス・エフエー株式会社

ファクトリーオートメーション用センサーの開発・製造・販売

IA事業

シーシーエス株式会社

画像検査用LED照明の開発・製造・販売

IA事業

サンリツオートメーション株式会社

産業用コンピュータの開発・製造・販売

IA事業

ミツテック株式会社

自動化装置および画像処理検査装置の開発・製造・販売

IA事業

オプテックス・エムエフジー株式会社

グループ製品の製造・電子機器の受託生産

EMS事業

オーパルオプテックス株式会社

アウトドアアクティビティおよび環境体験学習の運営

その他事業

会社概要_事業売上構成比

IA（インダストリアルオートメーション）事業

自動化装置関連

自動車向けの二次電池製造装置を提供

産業用PC関連

半導体製造装置向けの組込ボードや
空港向けの追尾カメラを提供

検査用照明関連

工場の検査工程で検査の品質向上に
役立つ照明を提供

FA関連

工場の生産工程で自動化・省人化に
役立つセンサーを提供



SS（センシングソリューション）事業

防犯関連

住宅、事業所、大型重要施設向けの
侵入検知センサーを提供



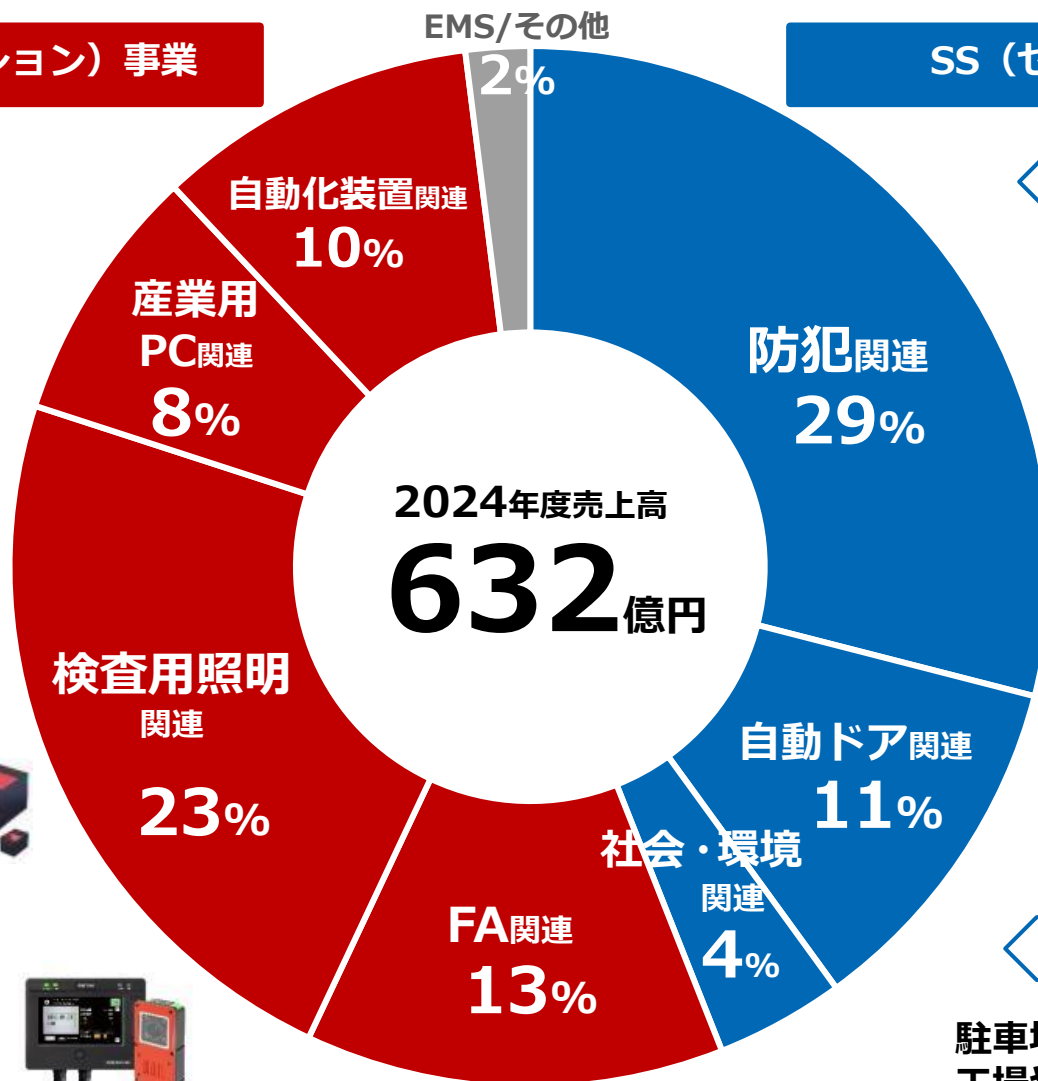
自動ドア関連

自動ドア用センサー、工場や倉庫の
シャッター用センサーを提供

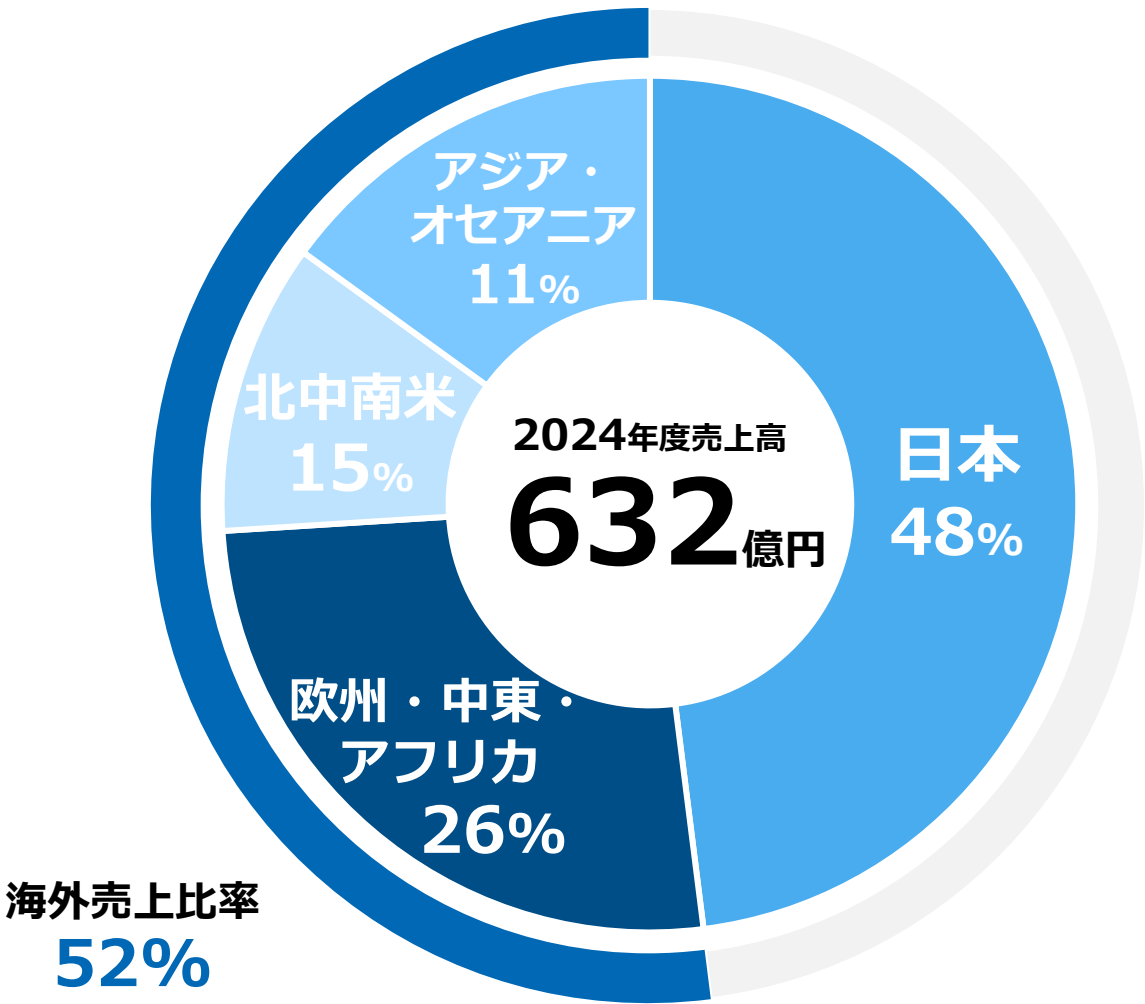


社会・環境関連

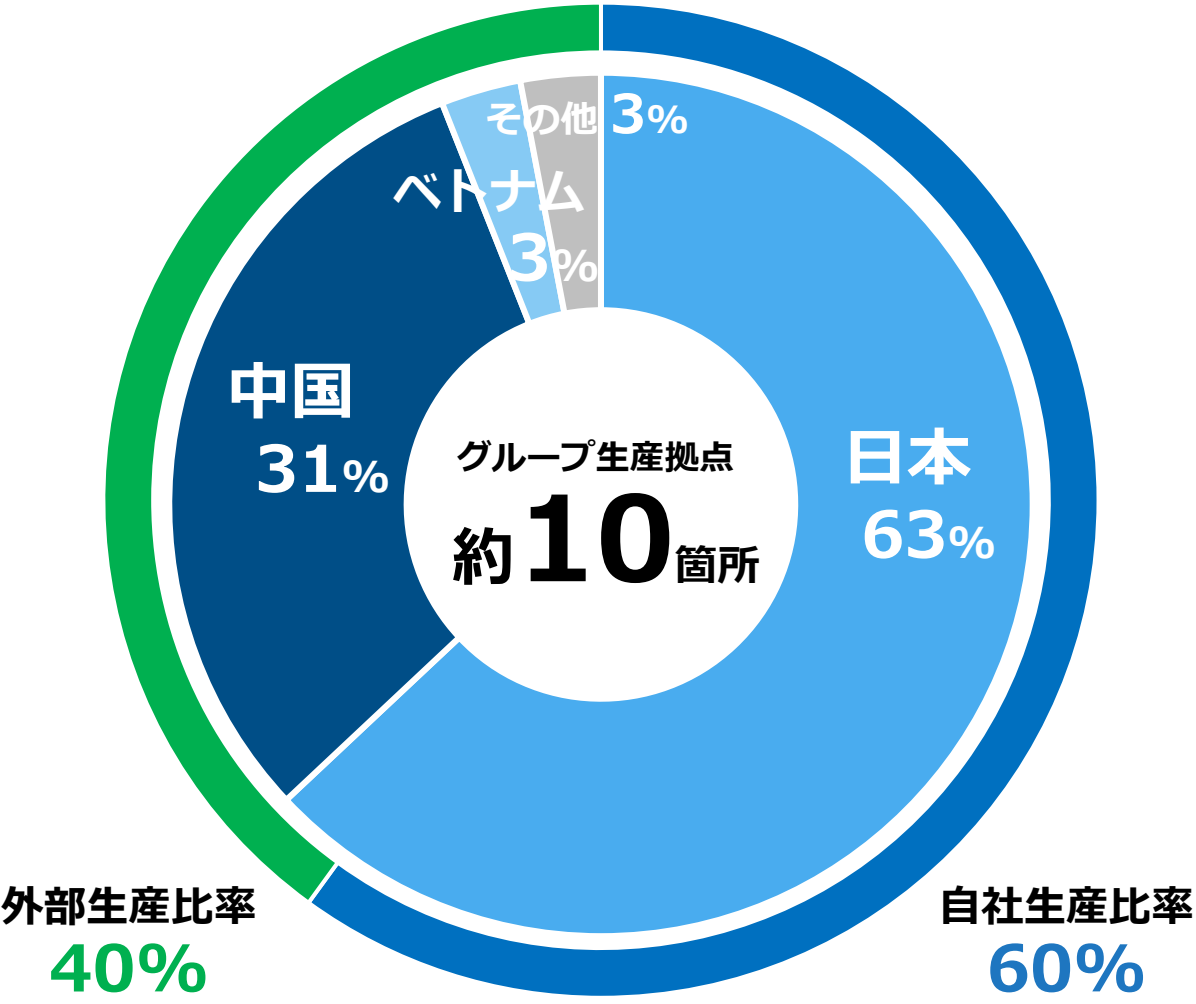
駐車場向けの車両検知センサーや
工場や浄水場向けの
水質計測センサーを提供



会社概要_地域別売上構成比、生産拠点別構成比



地域別売上構成比



生産拠点地域別構成比

会社概要_マーケットシェア

「グローバルニッチNo.1」

防犯

グローバルシェア

40%

屋外用侵入検知センサー



大型重要施設向け
レーザースキャンセンサー



カメラ付きセンサー

自動ドア

グローバルシェア

30%

自動ドア用センサー



赤外線センサー



シャッター用センサー



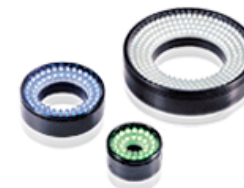
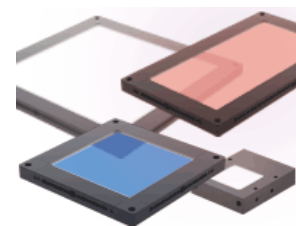
タッチスイッチ

検査用照明

グローバルシェア

30%

画像検査用LED照明



各種LED照明

事業概要_SS事業（防犯関連）

屋外用侵入検知センサーで世界トップシェア



レジデンシャル（住宅）向け



高級住宅（海外）

コマーシャル（事業所・倉庫等）向け



事業所

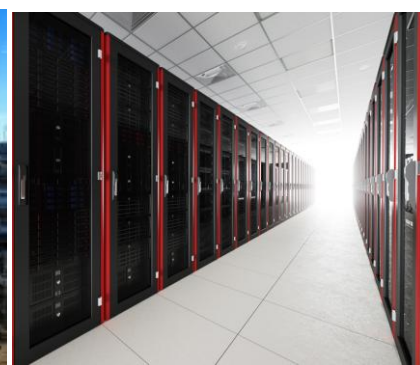


倉庫

ハイセキュリティ（大型重要施設）向け



発電所・石油インフラ施設



データセンター

事業概要_SS事業（自動ドア関連）

国内シェア50%以上、海外シェア20%

1980年 世界初 遠赤外線式自動ドアセンサーを開発

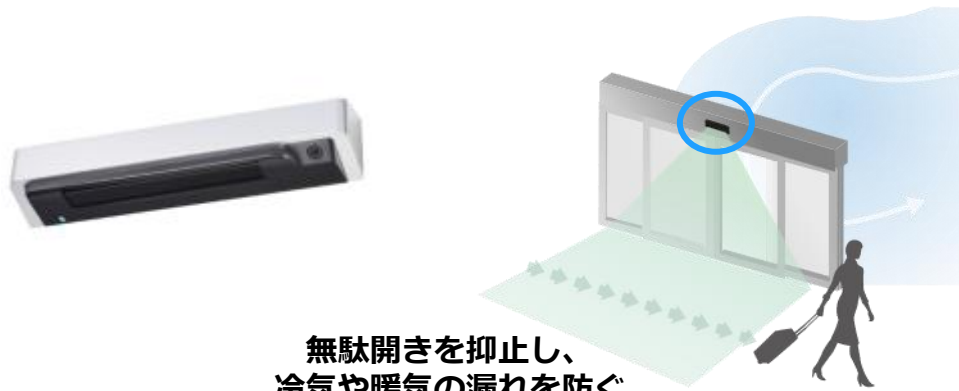


マットスイッチ（床）



自動ドア用センサー1号機

空調エネルギーロスを減らし、CO2削減に貢献



無駄開きを抑止し、
冷気や暖気の漏れを防ぐ

ショッピングセンター



コンビニ向けシェア60%以上



病院



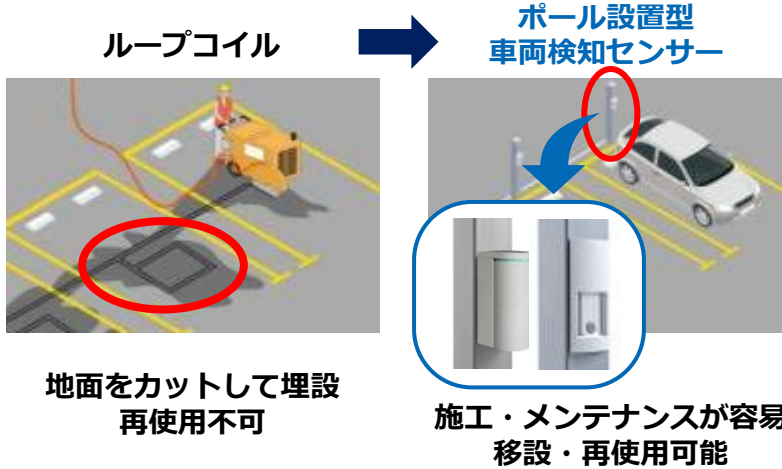
工場、倉庫用シャッター



事業概要_SS事業（社会・環境関連）

車両検知センサー：環境負荷の少ない車両検知センサーで、駐車場や交通インフラの快適性を実現

【在車管理】埋設工事が不要に。



【ゲート開閉】

住宅、事業所等向け ゲート自動開閉用途



商業施設、公共施設



コインパーキング



水質計測センサー：水質測定からデータ管理まで自動化し、水質監視と予防保全の効率化を実現



浄水場、工場



養殖場



事業概要_IA事業（FA関連）

工場の生産工程で自動化、省人化に役立つセンサーを提供

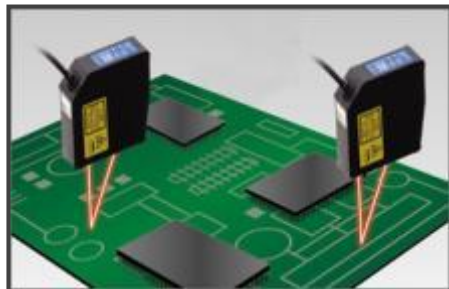
変位センサー



半導体、電気・電子部品業界向け



スマートフォンのフレームの高さ測定



基板の傾き、ソリ測定

画像センサー



三品業界向け（食品、医薬品、化粧品）



弁当・惣菜の食品表示ラベル検査

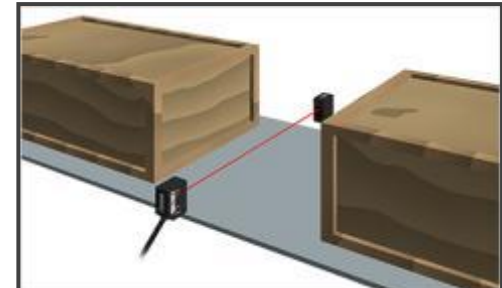


牛乳の賞味期限印字検査

光電センサー



物流業界向け



段ボールや木箱の通過検出



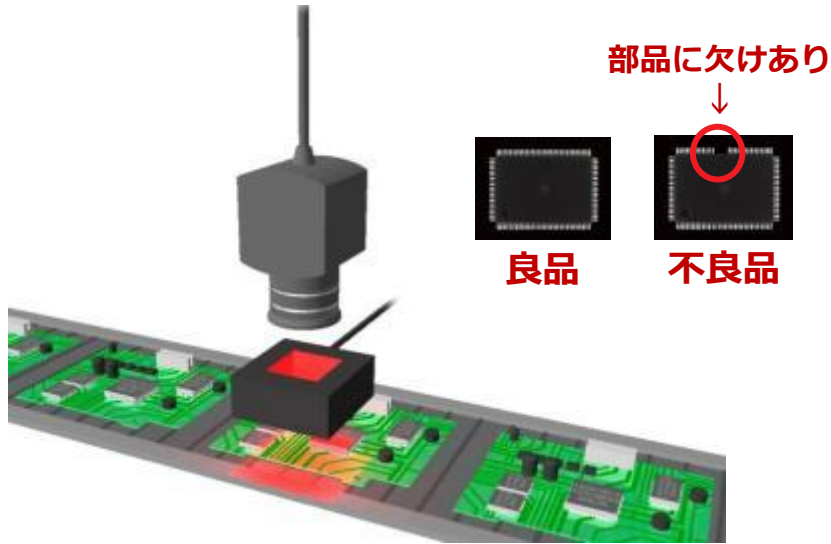
自動倉庫ではみ出し検出

事業概要_IA事業（検査用照明関連）

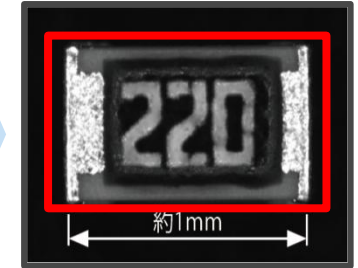
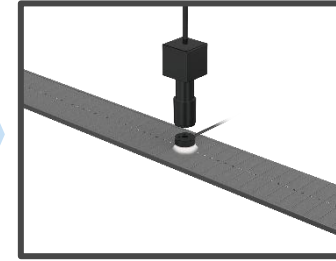
CCS は1993年設立の、LEDを活用した検査用照明メーカー

検査用照明とは？

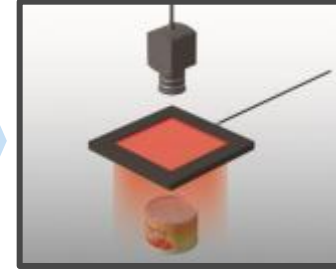
工場で何かを生産する場合は、各工程ごとに必ず「検査」のプロセスがあり、検査対象物を照明・電源、レンズ・カメラを使って撮像し、画像を基に「良品 or 不良品」の判定を行います。



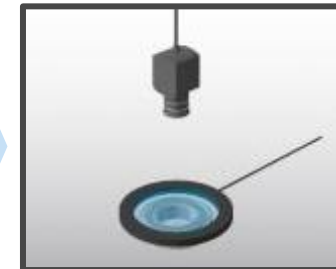
プリント基板の実装部品欠陥検査



小型チップ部品の文字・形状観察撮像



缶詰表面の汚れ撮像



ベアリングの刻印文字撮像

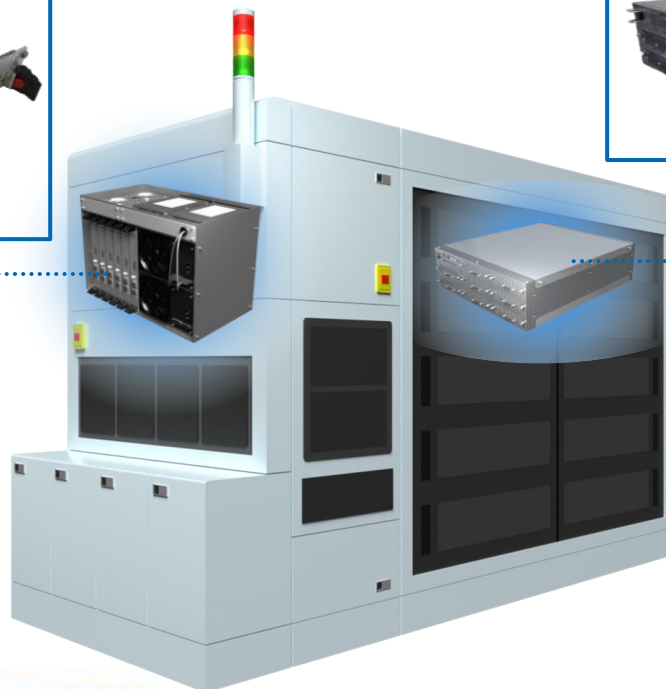
事業概要_IA事業（産業用PC関連）

耐環境性、耐ノイズなどの信頼性の高い製品を提供

ハードウェア・ソフトウェアの豊富な開発ノウハウによる長期的な技術サポートが強み

産業用組み込みボード

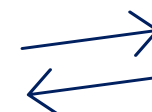
半導体製造装置や医療・通信などの生産性向上に
貢献するコンピュータ・プラットフォームを提供



半導体製造装置のイメージ

生産・社会インフラシステム

自動追尾用カメラ等のシステムを提供し、
空港等、社会インフラの課題解決に貢献



主要空港から遠隔で監視



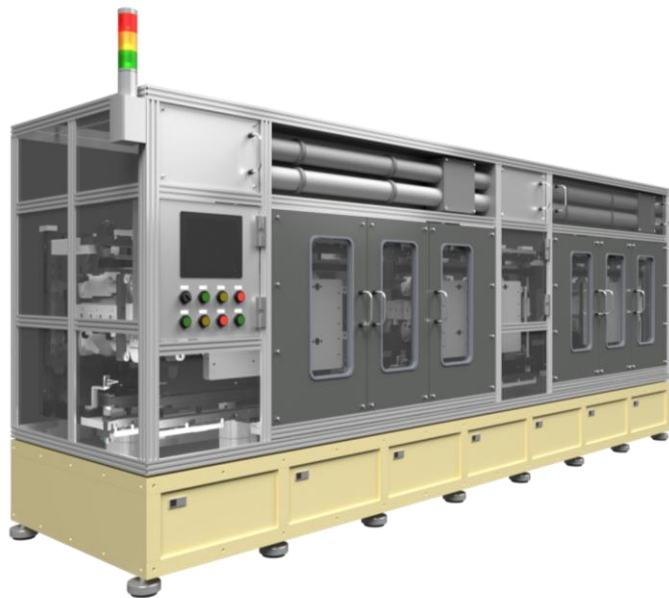
地方空港のイメージ

事業概要_IA事業（自動化装置関連）

自動化装置

高度なメカトロ技術を保有

- ✓ 高速・高精度充填技術
- ✓ 高速搬送技術 等



二次電池製造装置等の自動化装置の開発

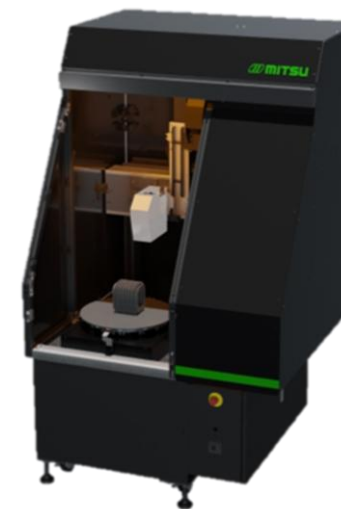
画像処理検査／計測装置

モノを動かす
「Motion技術」

×

モノを見る
「Vision技術」

お客様の課題に合わせてカメラ、LED照明、各種測定機等を組み合わせた画像処理検査システムを構築



ESGの取り組み

当社はサステナビリティ基本方針の元、ESG課題に積極的に対応し企業価値の向上に努めています。ESGレポートを作成しておりますのでぜひご覧ください（[レポートはこちら](#)）。



Environment (環境)

環境課題への取り組み

【TCFD提言への賛同】

「2030年までに2019年度比CO2排出量を30%以上削減する」という中長期目標を設定し、気候変動対応プロジェクトを中心にTCFDの枠組みに沿った対応を推進

【製品・ソリューションでCO2削減に貢献】

環境配慮型の製品・ソリューションの普及拡大に取り組む

自動ドアセンサー



無駄な開閉を防止することにより空調効率を改善

画像検査用LED照明



明るさを自動管理するフィードバック制御により省エネを実現



Social (社会)

社会課題への取り組み

「自己実現No.1」の会社を目指し、社員の成長のサポートや能力発揮のための人材育成と職場環境の整備を推進。



健康意識の向上や生活習慣の改善、メンタルヘルス対策の強化の取り組みにより、優良な健康経営に取り組む企業として、オプテックス株、オプテックス・エフエー株の2社が「健康経営優良法人」に認定。



Governance (ガバナンス)

企業統治への取り組み

当社の取締役会は、企業経営・経営管理、技術開発、生産、営業販売、海外での勤務経験、会計の専門性等をそれぞれ有効に活用する取締役5名（男性4名、女性1名）と、豊富な監査経験、税理士、公認会計士、弁護士の資格を有する等、高い見識と知見を有する監査等委員である取締役3名（男性2名、女性1名）で構成されています。

(2025年3月28日現在)



取締役会での活発な議論を通じた意思決定で戦略の質を高め、更なる企業価値の向上を実現。

